

科学研究費補助金（学術創成研究費）事後評価結果

課題番号	16GS0209	研究期間	平成16年度～平成20年度
研究課題名	電子共役系有機構造体の創製と機能開発		
研究代表者名 (所属・職)	檜山 爲次郎（京都大学・大学院工学研究科・教授）		

【平成22年度 事後評価結果】

該当欄		評価基準
	A+	期待以上の研究の進展があった
○	A	期待どおり研究が進展した
	B	期待したほどではなかったが、一応の進展があった
	C	十分な進展があったとは言い難い
（評価意見）		
<p>本研究は、π電子共役分子系の革新的かつ効率的合成法を開発し、それを用いていくつかの機能性π電子共役有機構造体を創製している。全般的には期待どおり研究が進展したと評価できる。</p> <p>研究分担者により多少の差異はあるものの、研究成果の公表も適切に行われている。</p> <p>有機合成・高分子・液晶の分野の優れた研究者が構成する研究計画であったので、これらの分野のより緊密な有機的連携があれば、相乗的效果により当初の計画を上回る期待以上の研究成果が得られたのではないかと思われる。</p>		